

基礎要件データ（案）＜グローバル法務系専門職大学院＞
（○○大学大学院○○研究科○○専攻）

○ 本データ集について

- ・ 本データ集は、評価対象となる事項のうち、主に法令等の基礎要件に係るものの状況を表すためのものです。基礎要件の具体的な内容は、表ごとに示しています。
- ・ 本データ集で示す基礎要件の状況は、原則として点検・評価報告書への記載は不要です。ただし、基礎要件の一部は、評価の視点としても設定されているため、これらについては点検・評価報告書への記載が必要となります（該当の表には評価の視点の番号を付記しています）。

○ 作成上の注意点について

- ・ 表の太枠部分が記載欄です。記載すべき内容は、それぞれの欄に※で示しています。記載時には、※の内容を削除し、各専門職大学院の状況を記載して下さい。
- ・ 大学記載欄に＜根拠資料＞とある場合、根拠資料も記載して下さい（根拠資料がない場合は「なし」と記載して下さい）。根拠資料の資料番号は、点検・評価報告書とは別に、本様式としての番号を付して下さい。
- ・ 特に指定がない限り、認証評価が行われる前年度の状況を記載して下さい（表8～表15は5月1日を基準日として下さい）。複数年度の状況を記載すべき場合には、認証評価実施年度を「N年度」とし、それより前の年度を「N－1年度」などと示しています。
- ・ その他、特定の表に関する注意事項は、表に〔注〕として示しています。

1 使命・目的

項目：目的の設定

表1：固有の目的を定めた学則等〔大学院設置基準第1条の2〕

基礎要件	大学記載欄	
固有の目的を学則等に定め、公表していること。	固有の目的	<p><学則等への規定の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。</p> <p><周知方法> ※学内外への周知方法（媒体等）を記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>

2 教育課程・学習成果、学生

項目：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針、学生の受け入れ

表2：3つのポリシー（評価の視点2-1、評価の視点2-16）〔学校教育法施行規則第165条の2〕

基礎要件	大学記載欄	
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定・公表していること。	学位授与方針	<p><策定の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。</p> <p><周知方法></p>

		<p>※学内外への周知方法（媒体等）を記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇）</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を策定・公表していること。	教育課程の編成・実施方針	<p><策定の有無> 有/無</p> <p>※いずれかを選択して下さい。</p> <p><周知方法> ※学内外への周知方法（媒体等）を記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇）</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定・公表していること。	学生の受け入れ方針	<p><策定の有無> 有/無</p> <p>※いずれかを選択して下さい。</p> <p><周知方法> ※学内外への周知方法（媒体等）を記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇）</p>

	※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。
--	--------------------------------

表 3 : 学位の名称 [学位規則第 5 条の 2、第 10 条]

基礎要件	大学記載欄	
分野の特性や教育内容にふさわしい名称を学位に付していること。	学位の名称 (日本語)	<p>※日本語の学位名称を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にあり場合はそれも記載して下さい。</p>
	学位の名称 (英語)	<p>※英語の学位名称を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にあり場合はそれも記載して下さい。</p>

項目 : 教育の実施

表 4 : 単位の設定 [大学設置基準第 21 条～第 23 条]

基礎要件	大学記載欄	
学生の学習時間等を考慮し、法令上の規定に則して、単位を設定していること。	1 単位あたりの学習時間	<p>○時間</p> <p>※1 単位あたりの学習時間を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にあり場合はそれも記載して下さい。</p>

	1 単位あたりの 授業時間	<p>○時間</p> <p>※1 単位当たりの学習時間に含まれる 1 単位当たりの授業時間を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <p>・〇〇〇〇 (資料〇-〇)</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	授業の実施期間・1 回 あたりの授業時間	<p><授業の実施期間></p> <p>※八週、十週、十五週その他の大学が定める適切な期間のいずれかを採用しているか記載して下さい。</p> <p><1 回あたりの授業時間></p> <p>○分</p> <p>※1 回あたりの授業時間を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <p>・〇〇〇〇 (資料〇-〇)</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	試験の実施期間	<p>※試験の実施期間をどのように設定しているか記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <p>・〇〇〇〇 (資料〇-〇)</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	集中講義等	<p>※上記の期間以外において集中講義等を行っている場合には、その実施時期と期間（試験を含む）を記載して下さい。</p>

		<根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。
--	--	---

表5：単位数の上限設定〔専門職大学院設置基準第11条〕

基礎要件	大学記載欄	
適切な履修が可能となるよう、履修登録できる単位数の上限を設定していること。	履修登録上限単位数	※学生が1年間又は1学期に履修登録できる単位数の上限を記載して下さい。 <根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。
	例外措置	※上限を超えて履修登録できる例外的な取扱いがあれば、具体的に記載して下さい。 <根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。

表6：他の大学院等において修得した単位の認定〔専門職大学院設置基準第13条～第14条〕

基礎要件	大学記載欄	
他の大学院等において修得した単位を適切な方法により認定していること。	他の大学院等において修得した単位の認定	<認定の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。

		<p><単位数> (個別の上限を設定していない場合は「一」) ○単位 ※単位数を記載して下さい。</p> <p><条件・手続> ※認定の具体的な条件、手続について記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的に ある場合はそれも記載して下さい。</p>
	<p>学校教育法第百五条の規定により大学院が編成する特別の課程 (履修資格を有する者が、同法第百二条第一項の規定により大学院に入学することができる者であるものに限る。) における学修を、当該専門職大学院における授業科目の履修とみなし、専門職大学院の定めるところにより単位を与えている場合の単位の認定</p>	<p><認定の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。</p> <p><単位数> (個別の上限を設定していない場合は「一」) ○単位 ※単位数を記載して下さい。</p> <p><条件・手続> ※認定の具体的な条件、手続について記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的に ある場合はそれも記載して下さい。</p>

	入学前において修得した単位の認定	<p><認定の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。</p> <p><単位数> (個別の上限を設定していない場合は「一」) 〇単位 ※単位数を記載して下さい。</p> <p><条件・手続> ※認定の具体的な条件、手続について記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	上記3措置を合わせた最大の認定数	<p>〇単位</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>

項目：学習成果

表7：課程修了の要件（評価の視点 2-14）〔専門職大学院設置基準第2条～第3条、第15条～第16条〕

基礎要件	大学記載欄	
課程の修了認定に必要な	標準修業年限	※標準修業年限を記載して下さい。

在学期間及び修得単位数を適切に設定していること。		<p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	修了要件単位数	<p>※修了要件単位数を記載して下さい。連携開設科目に係る単位の認定を行っている場合は、同科目の認定単位数の上限も記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	長期履修制度	<p>※長期履修制度を設けている場合には、その具体的な内容を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
	在学期間の短縮	<p>※在学期間を短縮することができる場合には、その具体的な内容を記載して下さい。</p> <p><根拠資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇〇〇 (資料〇-〇) <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>

表 8 : 定員管理 (評価の視点 2-18) [大学院設置基準第 10 条]

基礎要件	大学記載欄					
	定員を適正に管理し	入学定員に対する	入学定員	N-3年度	N-2年度	N-1年度

ていること。	入学者数	※入学生定員（人数）を記載して下さい。	※入学者数を記載して下さい。また、括弧書きで入学生定員に対する割合を記載して下さい。	※入学者数を記載して下さい。また、括弧書きで入学生定員に対する割合を記載して下さい。	※入学者数を記載して下さい。また、括弧書きで入学生定員に対する割合を記載して下さい。	※左記3年間の割合の平均を記載して下さい。
	入学志願者数		※入学志願者数を記載して下さい。	※入学志願者数を記載して下さい。	※入学志願者数を記載して下さい。	
	合格者数		※合格者数を記載して下さい。	※合格者数を記載して下さい。	※合格者数を記載して下さい。	
	学生収容定員に対する在籍学生数	学生収容定員		N－3年度	N－2年度	N－1年度
※学生収容定員（人数）を記載して下さい。		※在籍学生数を記載して下さい。また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載して下さい。	※在籍学生数を記載して下さい。また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載して下さい。	※在籍学生数を記載して下さい。また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載して下さい。	※在籍学生数を記載して下さい。また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載して下さい。	※左記3年間の割合の平均を記載して下さい。

- [注] 1 各年度とも、5月1日時点の数を記載して下さい（秋入学を実施している場合は、欄を追加して入学生定員、入学者数、入学志願者数及び合格者数を別に記入したうえで合計欄を設けて下さい）。
- 2 割合は、%表示ではなく計算値をそのまま記載して下さい（ただし小数点以下第3位を四捨五入して小数点第2位まで表示して下さい）。
- 3 割合の平均は、四捨五入前の各年度の割合の平均として下さい。

3 教員・教員組織

項目：教育にふさわしい教員の配置

表9：専任教員数〔専門職大学院設置基準第4条、平成15年文部科学省告示第53号第1条〕

基礎要件		大学記載欄	
法令上必要とさ	専任教員数	法令上の必要最低専任教員数（A）	現在の専任教員数（みなし専任教員を含む）

れる人数の専任教員が配置されていること。		※法令で求められる専任教員の必要最低人数を記載して下さい。	※現在のみなし専任教員を含む専任教員数を記載して下さい。
----------------------	--	-------------------------------	------------------------------

[注] 1 「現在の専任教員数」には、学部等との兼任教員、非常勤教員は含めないで下さい。ただし、雇用上非常勤であっても、法令の要件のもと、みなし専任教員として扱っている者は、非常勤ではなく専任教員として表の数に参入してください。

表 10：教授の割合〔平成 15 年文部科学省告示第 53 号第 1 条〕

基礎要件	大学記載欄		
法令上必要とされる専任教員数の半数以上が教授で構成されていること。	教授数	法令上の必要最低教授数（法令上の必要最低専任教員数の半数以上にあたる数）	現在の教授数
		※法令で求められる教授の必要最低人数を記載して下さい。	※現在の教授数を記載して下さい。

表 11：実務家教員〔平成 15 年文部科学省告示第 53 号第 2 条〕

基礎要件	大学記載欄		
法令上必要とされる専任教員に占める実務家教員の割合がおおむね 3 割以上であること。	実務家教員数	法令上の必要最低実務家教員数（法令上の必要最低専任教員数のおおむね 3 割にあたる数）	現在の実務家教員数
		※法令で求められる実務家教員の必要最低人数を記載して下さい。この人数が必要最低専任教員数（A）に占める割合（%）を括弧書きで併記して下さい（小数点以下第二位を四捨五入）。	※現在の実務家教員数を記載して下さい。

実務家教員は、いずれも5年以上の実務経験を有するとともに、高度の実務能力を有すること。	実務経験	氏名	5年以上の実務経験
		※実務家教員の氏名を記載して下さい。みなし専任教員は氏名の後に「(み)」と記載して下さい。 ※実務家教員ごとに行を追加して作成して下さい。	※実務経験について、期間を含め具体的に記載して下さい。 ※実務家教員ごとに行を追加して作成して下さい。
	高度の実務能力	※実務家教員の「高度の実務能力」を、どのような方法・手続で確認しているか記載して下さい。基準等があればあわせて示して下さい。 <根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。	

- [注] 1 実務家教員の実務経験について独自の様式でまとめている場合は、本表の「実務経験」欄の記載を、当該資料の提出に代えることができます。その際は、「実務経験欄」に根拠資料の名称・資料番号のみを記載して下さい。
- 2 本表の「5年以上の実務経験」欄に実務経験を記載する場合であっても、実務家教員の人数が多く、本表が長大になる場合は、本表の「実務経験」欄の記載を、根拠資料として提出して下さい。その際は、「実務経験欄」に根拠資料の名称（例：「実務家教員の実務経験」）・資料番号のみを記載して下さい。

表 12：みなし専任教員〔平成 15 年文部科学省告示第 53 号第 2 条〕

基礎要件	大学記載欄
------	-------

		みなし専任教員数	みなし専任教員の担当授業科目の単位数
<p>実務家教員のなかに「みなし専任教員」を置く場合には、その人数及び担当授業科目の単位数が法令上の規定に則したものであること。</p>	<p>みなし専任教員の人数及び担当授業科目の単位数</p>	<p>＜みなし専任教員の数＞ 〇名 ※みなし専任教員の人数を記載して下さい。</p> <p>＜専任教員に算入できるみなし専任教員数（必要最低実務家教員数に三分の二を乗じて算出される数（端数は四捨五入）＞（みなし専任教員がいない場合は「—」） 〇名 ※専任教員に算入できるみなし専任教員数（必要最低実務家教員数に三分の二を乗じて算出される数（端数は四捨五入））を記載して下さい。</p>	<p>※みなし専任教員の担当授業科目の単位数を記載して下さい。みなし専任教員が複数配置されている場合には、そのうち担当授業科目の単位数の最低値と最高値を「〇～〇単位」のように記載して下さい。</p> <p>＜根拠資料＞ ・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
<p>「みなし専任教員」は教育課程の編成その他組織の運営について責任を担っていること。</p>	<p>みなし専任教員の責任</p>	<p>※みなし専任教員が授業科目の担当以外にどのような責任を負っているのか記載して下さい。</p> <p>＜根拠資料＞ ・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>	

表 13：専攻分野における業績、技術・技能又は知識・経験及び高度の教育上の指導能力（評価の視点 3-3）〔専門職大学院設置基準第 5 条〕

基礎要件		大学記載欄			
専任教員は、専攻分野における優れた業績、技術・技能又は知識・経験を有するとともに、高度の教育上の指導能力を備えていること。	専攻分野における優れた業績、技術・技能又は知識・経験	氏名	専攻分野について、教育上又は研究上の業績を有する	専攻分野について、高度の技術・技能を有する	専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する
	高度の教育上の指導能力	<p>※専任教員の氏名を記載して下さい。氏名の後に、実務家教員は（実）と、実務家教員のうちみなし専任教員は（実・み）と記載して下さい。</p> <p>※当該専門職大学院において「高度の教育上の指導能力」をどのような方法・手続で確認しているか記載して下さい（基準等があればあわせて示して下さい）。</p> <p><根拠資料></p> <p>・○○○○（資料○-○）</p> <p>※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>	※該当する場合○を記載して下さい（複数に○可）。	※該当する場合○を記載して下さい（複数に○可）。	※該当する場合○を記載して下さい（複数に○可）。

表 14：専任教員の年齢構成（評価の視点 3-4）〔大学院設置基準第 8 条〕

基礎要件	大学記載欄							
	職位	70 歳以上	60～69 歳	50～59 歳	40～49 歳	30～39 歳	29 歳以下	計
教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏っていないこと	教授							
	准教授							
	講師							

	助教							
	計							

表 15：専任（兼務）教員〔専門職大学院設置基準第 5 条、平成 15 年文部科学省告示第 53 号第 1 条〕

基礎要件	大学記載欄				
他の学部又は研究科の基幹教員等が当該専門職大学院の専任教員として取り扱われる（ダブルカウントされる）場合には、その人数、期間等が法令上の規定に則したものであること。	専任（兼務）教員	他の学部又は研究科の基幹教員等であって、当該専門職大学院の専任教員としても取り扱われている者の氏名	学部	修士／博士前期／他の専門職学位課程	博士後期（法令上の人数の規制はない）
		※該当する者の氏名を記載して下さい。必要に応じて行を追加して下さい。	※左記の専任教員が兼務している学部・学科名を記載して下さい（該当がなければ「—」）。以下同様です。	※左記の専任教員が兼務している研究科・専攻名を学位課程種別とともに記載して下さい（該当がなければ「—」）。以下同様です。	※左記の専任教員が兼務している研究科・専攻名を記載して下さい（該当がなければ「—」）。以下同様です。
博士後期課程を担当する教員以外の専任教員を兼ねることのできる者の数 （学部又は研究科と兼務している教員がない、又は博士後期課程以外に兼務している教員がない場合は「—」）					
○名 ※下記①と②の和を記載して下さい。					

		<p><内訳></p> <p>①必要最低専任教員数を超えて配置されている教員数 〇名 ※表9の「現在の専任教員数」から「法令上の必要最低専任教員数（A）」を引いた数を記載して下さい。</p> <p>②大学院設置基準第9条第1項の規定により修士課程に置くものとする専任教員の数（平成15年文部科学省告示第53号第1条第2項）（専門職大学院設置基準第5条第2項の範囲で兼務可能） 〇名 ※大学院設置基準第9条第1項の規定により修士課程に置くものとする専任教員の数を記載して下さい。</p> <p>修士／博士前期／他の専門職学位課程との兼務期間等（専門職大学院設置基準第5条第2項） （学部又は研究科と兼務している教員がない、又は博士後期課程以外に兼務している教員がない場合は「—」） ※修士／博士前期／他の専門職学位課程との兼務期間等が専門職大学院設置基準第5条第2項の範囲内となっているか記載して下さい。 ※必要最低専任教員数を超えて配置されている教員には法令上の兼務の規制はないため、この範囲内でしか修士／博士前期／他の専門職学位課程との兼務者がいない場合は、「該当なし」と記載して下さい。該当者が全くいない場合も、同様にして下さい。</p> <p><根拠資料></p> <p>・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
--	--	--

4. 専門職大学院の運営と改善・向上

項目：社会との関係、情報公開

表 16：教育課程連携協議会の設置及び構成〔専門職大学院設置基準第6条の2〕

基礎要件	大学記載欄	
教育課程連携協議会を設置していること。	教育課程連携協議会の有無	<p><設置の有無> 有/無 ※いずれかを選択して下さい。</p> <p><教育課程連携協議会の名称> ※名称を記載して下さい。 ※組織名称が教育課程連携協議会と異なる場合は、当該組織が法令上の教育課程連携協議会であることが学内規程等において明らかにされているか記載して下さい。</p> <p><根拠資料> ・〇〇〇〇（資料〇-〇） ※規程類で該当条項が具体的にある場合はそれも記載して下さい。</p>
教育課程連携協議会の構成が適当であること	教育課程連携協議会の構成	<p>学長又は当該専門職大学院の長が指名する教員その他の職員 ※該当する者の氏名及び所属を記載して下さい。</p>
		<p>当該専門職大学院の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの ※該当する者の氏名及び所属を記載して下さい。</p>
		<p>地方公共団体の職員、地域の事業者に ※該当する者がいる場合には、その氏名及び所属を記載し</p>

		よる団体の関係者その他の地域の関係者（教育の特性により適当と判断される場合のみ）	て下さい。また、該当する者がいない場合には「該当なし」と記載して下さい。
		当該専門職大学院を置く大学の教員その他の職員以外の者であって学長又は当該専門職大学院の長が必要と認めるもの	※該当する者がいる場合には、その氏名及び所属を記載して下さい。また、該当する者がいない場合には「該当なし」と記載して下さい。
		構成員のうち当該大学の教職員以外の者が占める割合	○% ※%で記載して下さい（小数点以下第二位を四捨五入）。

以降の表は、法令要件ではないものの、基準で求められる内容に沿って数値の確認が必要な事項です。
これらのデータについては、点検・評価報告書で説明する際に、関連する評価の視点の根拠として活用して下さい。

表 17：学位授与の状況

関連する評価の視点	大学記載欄		
	N-3年度	N-2年度	N-1年度
2 教育課程・学習成果、学生 [学習成果] 評価の視点 2-14： あらかじめ学生に明示した基準及び方法によって修了認定を行い、学位授与方針に定めた学習成果を達成した学生に対して適切に学位を授与していること。	学位授与者数	※学位を授与された者の数を記載して下さい。	※学位を授与された者の数を記載して下さい。

表 18：留年・休学・退学の状況

関連する評価の視点	大学記載欄		
	N-1年度において留年中の者（学年別）		
2 教育課程・学習成果、学生 [学生支援] 評価の視点 2-20： 適切な体制のもと、社会人、留学生、障がい者をは	留年者	※N年-1年度5月1日時点で留年中の者の数を学年別に記載して下さい。	
	休学者	N-1年度において休学中の者（学年別）	
	退学者	N-4年度	N-3年度

じめ、多様な学生が学習を行っていくための支援がなされていること。		※年度内に生じた退学者の数 (除籍者を含む)を記載し て下さい。	※年度内に生じた退学者の数 (除籍者を含む)を記載して 下さい。	※年度内に生じた退学者の数 (除籍者を含む)を記載して 下さい。
----------------------------------	--	--	--	--